

平成21年漁況通報(年報)

平成22年3月12日
大阪府環境農林水産総合研究所
水産技術センター

巾着網(中部標本船)

カタクチイワシが4月と6～8月に比較的多く漁獲されたが、9月以降は減少した(図1)。

船びき網(南部標本組合)

イカナゴ漁は極度の不漁であった(図2)。

イワシラスは4～12月に漁が行われ、6月は不漁であったが、8月は豊漁となった(図3)。

すずき流網: 中部標本船は6～11月に漁が行われ、平年を上回る漁獲があった(図4)。

さわら流網: 南部標本組合の月漁獲量は、春漁は不振であったが、秋漁は豊漁であった(図5)。

あなご籠: 中部標本船の漁獲量は、8・9月を除いて平年を下回った(図6)。

小型底びき網

石げた網(中部標本組合)

マコガレイは近年不漁であるが、本年も著しい不漁が継続していた(図7)。

メイタガレイは1～4月は好漁であったが、その後は平年並みか平年以下であった(図8)。

図1

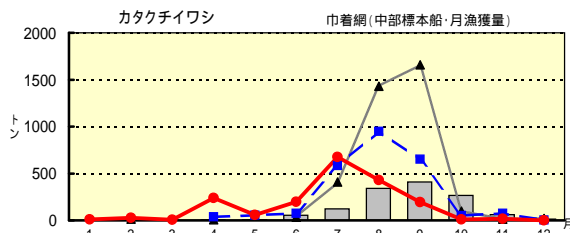


図2

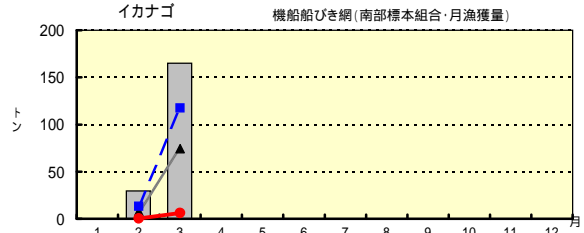


図3

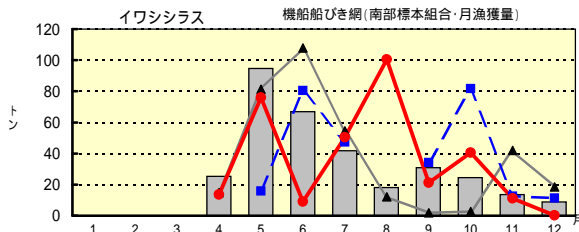


図4

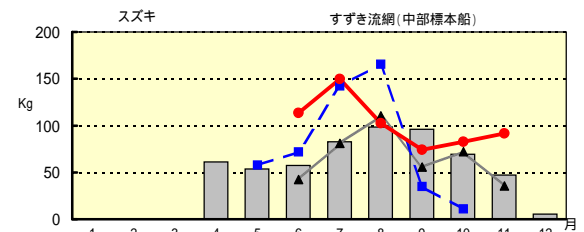


図5

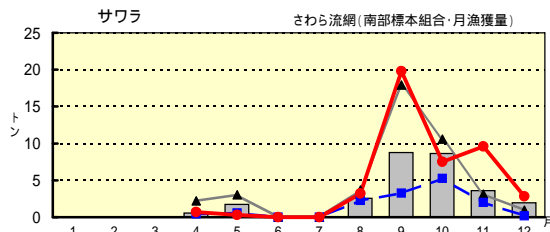


図6

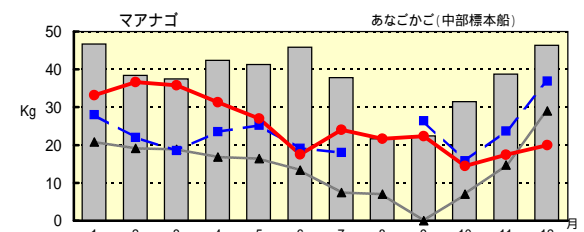


図7

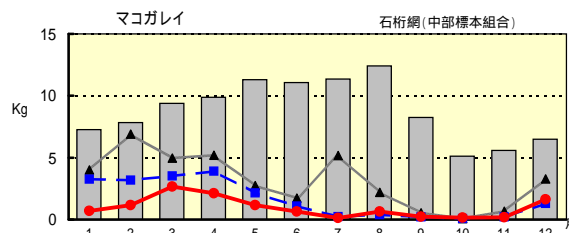


図8

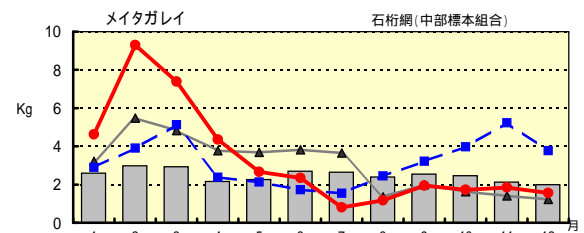


図1は標本船の月漁獲量、図2・3・5は標本組合の月漁獲量、それ以外は1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値 ●— 平成21年 ■- - 平成20年 ▲— 平成19年

シタ類は一年を通じて平年を越え、好漁であったが、昨年には及ばなかった(図9)。
 マアナゴは、7・8月に多く漁獲され、量は平年並みであった(図10)。
 ネズボ類(ガッチョ)は3～5月に豊漁であったが、7月以降は不漁であった(図11)。
 ガザミ(ワタリガニ)は7～9月に好漁で、それ以外はほぼ平年並みであった(図12)。
 ヨシエビ(シラサエビ)は6月までは少なかったが、7月以降、好漁あるいは平年並みの漁獲であった(図13)。
 クマエビ(アシアカ)はここ3年間同じ傾向で、10・11月に豊漁であった(図14)。
 小エビ類は6～8月に豊漁で、それ以外も平年並みか少し上回っていた(図15)。
 シャコは不漁が継続していたが、7～9月に久しぶりに平年をこえたものの、10月以降再び不漁となった(図16)。
 マダコは夏季に多く、8月は平年を越えていた(図17)。
 アカガイは周年漁獲が多く、特に2～5月に豊漁であった(図18)。

図9

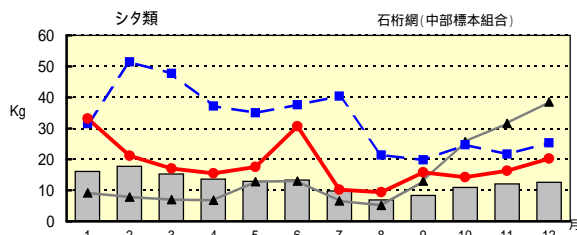


図10

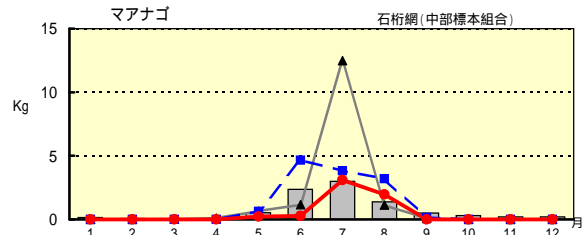


図11

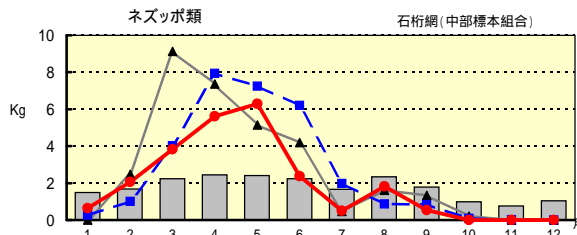


図12

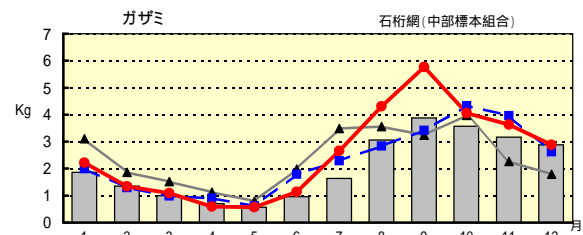


図13

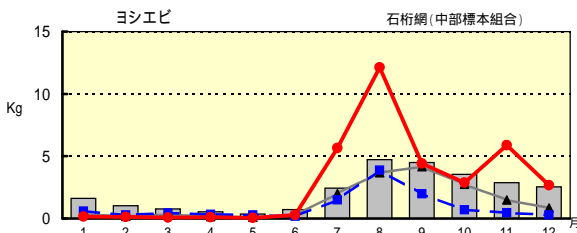


図14

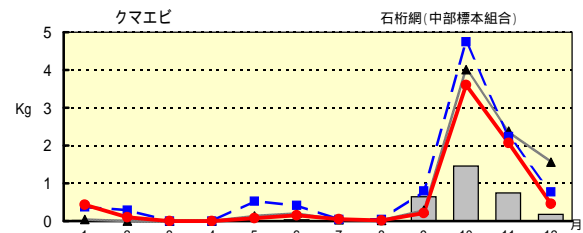


図15

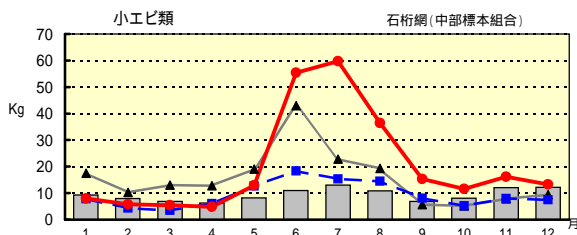


図16

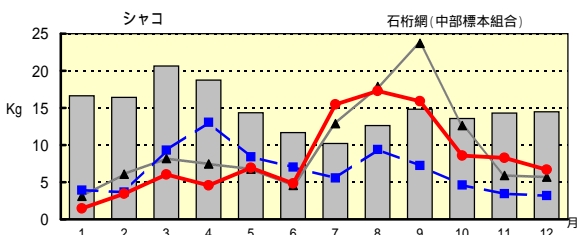


図17

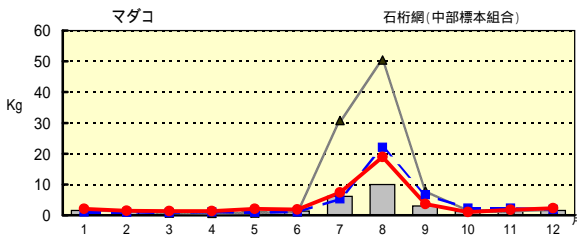
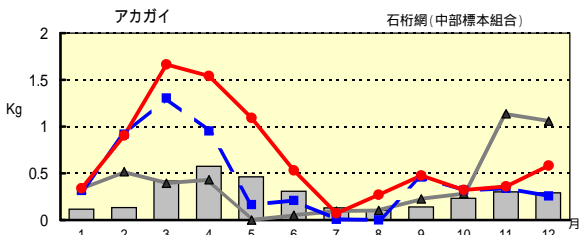


図18



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値 ● 平成21年 ■ 平成20年 ▲ 平成19年

トリガイは昨年は9～11月に豊漁であったが、今年は1～6月に多かった(図19)。

板びき網

中部のイワシ類(カタクチイワシ主体)は1～7月に豊漁であった(図20)。

中部のアジ類は、1月と6～8月に豊漁であった(図21)。

中部のスズキは、2月を除いて、周年平年を上回り好漁であった(図22)。

中部のタチウオはほぼ平年並みの漁獲であった(図23)。

中部のマダイは6～10月に豊漁であった(図24)。

中部のクロダイ(チヌ)は近年好調で、特に5月と11・12月に豊漁であった(図25)。

中部のシログチ(グチ・クチ)は前半は平年を下回ったが、9月以降、豊漁となった(図26)。

ハモは近年漁獲量が増えており、中部では7～10月に、南部では5～9月に豊漁であった(図27・28)。

図19

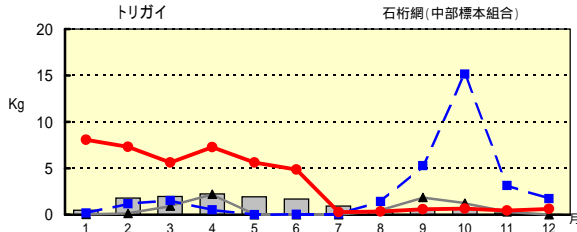


図20

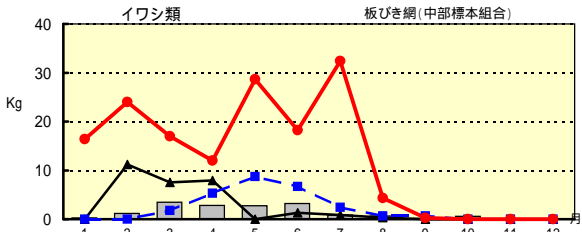


図21

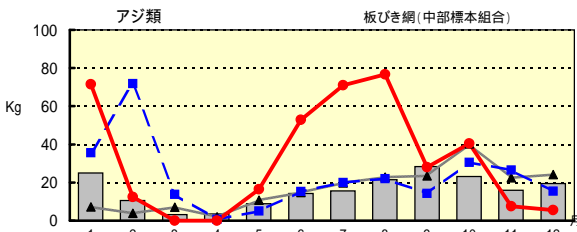


図22

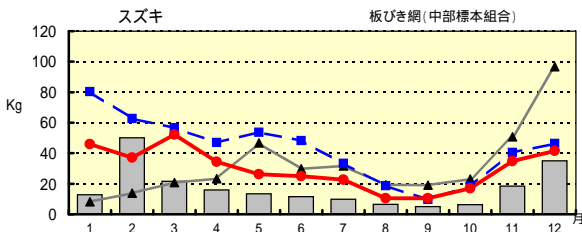


図23

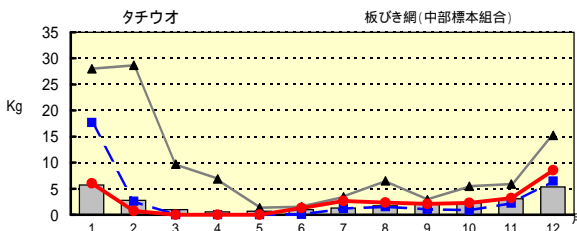


図24

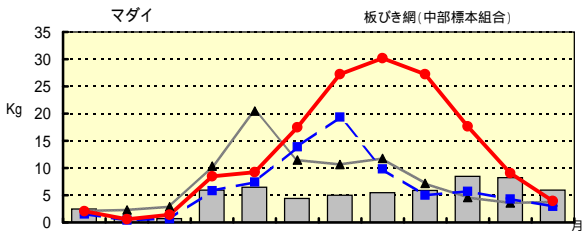


図25

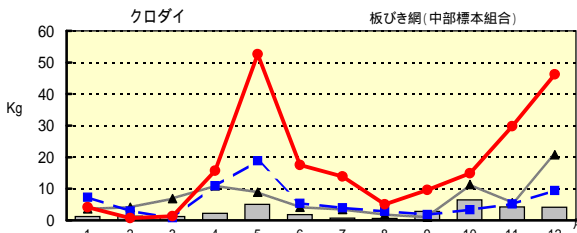


図26

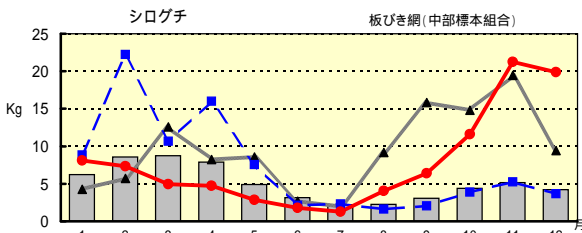


図27

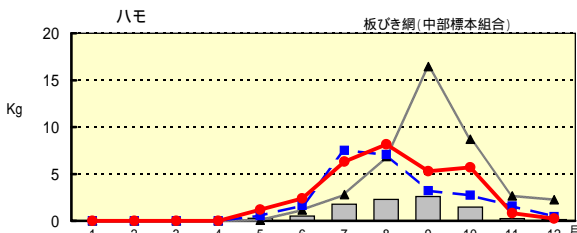
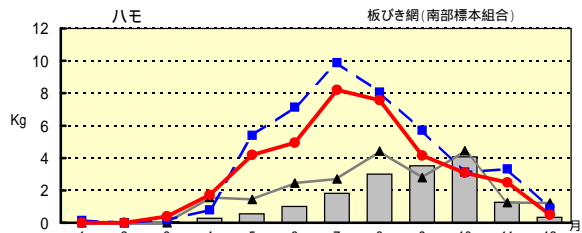


図28



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値

● 平成21年

■ 平成20年

▲ 平成19年

イボダイ(ウボゼ・シズ)は7～10月に漁獲され、中部は8月に特に多かったが、南部では不漁であった(図29・30)。
 中部のマナガツオは、年間を通じるとほぼ平年並みであったが、11・12月に好漁であった(図31)。
 南部のメイタガレイはほぼ周年、平年を下回った(図32)。
 南部のカワハギ(ハゲ・コウベ)の漁獲は低調であった(図33)。
 南部のコエビ類の漁獲は、周年、平年以下であった(図34)。
 中部のマダコは、ほぼ平年並みの漁獲であった(図35)。
 中部のジンドウイカ(ヒイカ)は前半に好漁で、特に1・2月に多かった(図36)。
 コウイカ類は10・11月に中部で豊漁であったが、南部は平年を下回った(図37・38)。

図29

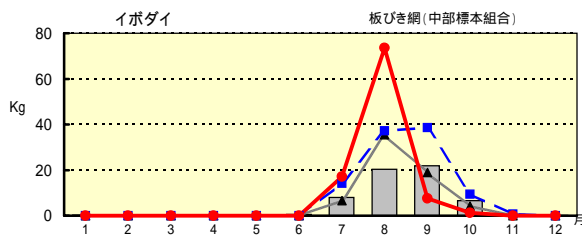


図30

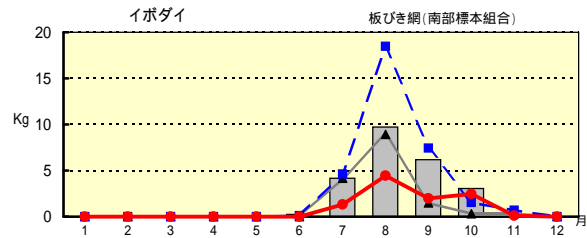


図31

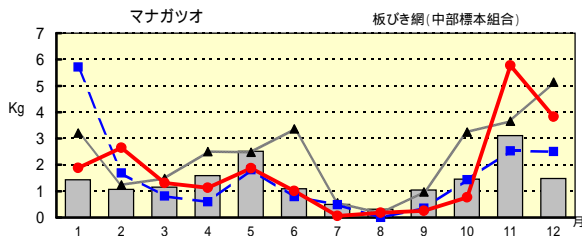


図32

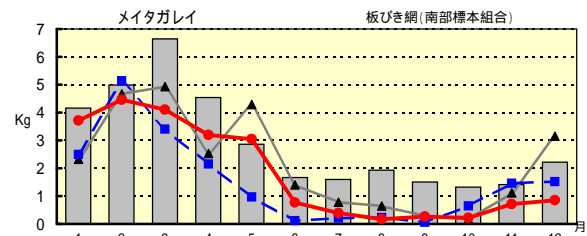


図33

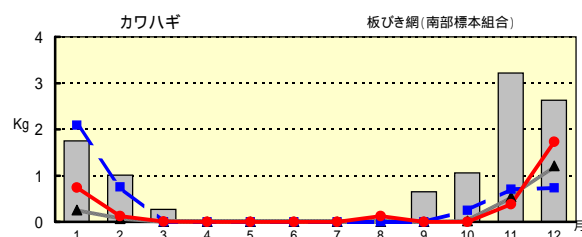


図34

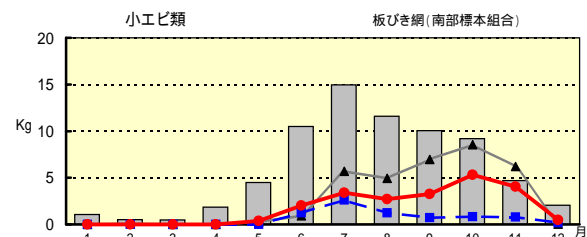


図35

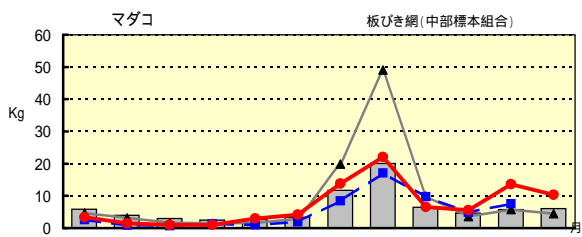


図36

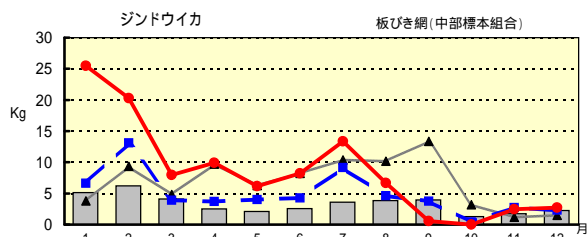


図37

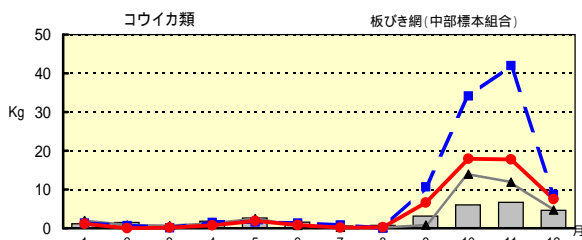
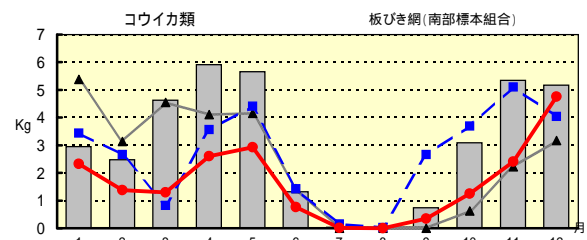


図38



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値

● 平成21年

■ 平成20年

▲ 平成19年